



10月 さかなグループだより

2026.10.01

もぐら建設～ステキなお家が建ちました～

さかなグループさんは4月から読み続けている「もぐらけんせつ」の絵本の世界を楽しんでいます。絵本を見て膨らんだ子どもたちのイメージを大切にしながら、プールスティックなどの道具を用意してみました。すると子どもたちは、プールスティックを工事現場のトンネルに見立てて「もぐらさんになって潜るぞ～！」と身をかがめてくぐってみたり、時には道路や障害物に見立てて「ジャンプで飛び越えろ！」と力いっぱい飛び越えてみたり、とても元気いっぱい遊ぶ姿がありました。うんどうあそびの日には工事現場を抜けて、子どもたちがやりたいと伝えてくれたお家の建設に挑戦します！

さらに、「みんなで力を合わせて大きなお家を運ぶ」場面では、一人では持ちにくい形の屋根を、ゆりさんとさくらさんと「せーの！」と声を掛け合いながら、もぐらの建設作業員になりきって一生懸命運んだり、ばらさんは大きくて少し重たい土台を引っ張ったり…。うんどうあそび当日に建てるお家も子どもたちが色を決め、コロッコやちぎり絵で色付けをしたり、お面も「ヘルメットを被りたい！」という声から一生懸命制作に取り組んできました。

同じ跳ぶ、潜るといった動きでもゆりさんの潜る動きと跳ぶ動きが交代になっていたり、ばらさんは体の大きさをよく考えて潜ったり、さくらさんはアヒルさん歩きでハードルを潜って行ったり、クラスによって違いがあり、各々が「カッコよくゴールしたい」と練習に励んでいます。お相手さんと一緒にあそぶ場面ではゆりさんがお相手さんをリードしてくれる場面や、ばらさんが1人であそびに挑戦する姿、さくらさんはドキドキしている姿もありますがお相手さんと一緒に楽しむ様子などお子さんの成長の姿を見ていただければと思っています。



ゆり

『まじょさんのふしぎなホウキ』

魔女さんからもらった可愛い歌に合わせて、楽しんでいるバンブーダンスですが、遊びを重ねていく中で自分の力や気持ちだけでは、うまく跳ぶことが出来ないことに気づいた子どもたち。

子どもたちだけで取り組む中で、お友だちのためにホウキを動かしてあげる役目もあります。「ひざがいたいよ～」「てをふまはった～」と練習が止まってしまうこともたくさんありました。みんなで『どうしたらうまく跳べるようになるだろう…』と話し合い、「ホウキを低く動かしてあげる」「元気いっぱい歌って合わせる」とお友だちのことを思う気持ちが大切！と気づいたゆりさん。少しずつ子どもたちの表情やお友だちへの声掛けも変わってきました。ゆりさんにとっては最後のうんどうあそびの日になります。ひとりひとりがこれまで頑張ってきた力を出しきり、お友だちのことを信じて取り組むバンブーダンスを暖かく見守って頂けたらと思います。

